

2020 年 6 月 29 日

リモート会議、ソーシャルディスタンス会議、オンライン講義の成果を上げるために  
聞き取りやすく、話しやすい環境を実現する機能性インテリアを発売

日本音響エンジニアリング株式会社

日本音響エンジニアリング株式会社（本社：東京都墨田区、社長：山梨忠志、資本金：3000万円）は、オフィスや部屋の音声を聞き取りやすく、話しやすい空間に変貌させる音響調整の機能を有するインテリア「Meleon（メレオン）」を9月28日(予定)に発売します。

Meleon はシェルフ（棚）、フィラー（吸音材）、ルームチューニング機構（国際特許を取得）という3つのアイテムから構成されています。

コロナ禍の影響で、テレワークを実施する企業が増加。リモート会議が広く普及しました。そのような中、通信環境やマイク・スピーカー等の周辺機器を整えても解消されない「相手の声が聞き取りにくい」、「自分の声が反響して話しづらい」といったフラストレーションを抱えているという声を多く聞きます。一方、コロナが収束に向かえば、リアルな会議が復活するでしょうが、それは出席者が一定の距離を保つ“ソーシャルディスタンス会議”になるはずです。今までよりも、少し大きめの声での発言が想定されます。

聞き取りづらさや話しづらさは、発言者（音源）と壁や天井からの反射音が混ざり相互に干渉し合うことが原因です。Meleon の特徴は3つのアイテムを組み合わせることで、反射音を変化させ、音の響きを整え、自然で心地のよさを感じる理想的な空間を作り出すところにあります。したがって、大きな声を出す必要もなくなります。

音環境の良し悪しは、とくに海外企業や地方企業など取引先との会議において、その進行を左右し、会議自体の成果にも影響を与えるだけに見逃せない課題です。

価格は部屋の大きさなどにより変動しますが、シェルフ一列セットで、約10万円（税別）からです。在宅勤務やテレワークが一般的になり働き方改革や労働生産性の向上に取り組む企業や、オンライン講義を推進する教育機関等を主対象に、また戸建て住宅のオプションや幼児施設などへも音環境の改善ができるインテリアとして提案していきます。



<この件に関するお問い合わせ先>

日本音響エンジニアリング株式会社 企画室 山下  
電話：03-3634-5307 FAX：03-3634-5327 携帯：090-3228-9621  
E-mail: koichi\_yamashita@hibino.co.jp  
〒130-0021 東京都墨田区緑 1-21-10 BR 両国2ビル

## ～Meleon を構成する 3 つのアイテム～

### 1. Meleon-フィラー(吸音材)

音を吸音する機能を持つ吸音フィラーは、レザー調とファブリックの異なる表面素材を用いた 2 タイプを用意。組成や素材を工夫し、一般的な吸音材の約 5 倍の厚みを持たせることで、高い音から低い音までバランスよく吸音をすることができます。

レザー調フィラーは、低い周波数帯域の吸音に優れ、かつ高い周波数帯域の音を適度に吸音しすぎないように設計されているので、ブーミー\*対策に効果があります。

ファブリックフィラーは、話声などの中心帯域である中高域の音をしっかりと吸音し、響き過ぎて大きな音が発生すると耳が痛くなるような空間や、複数の人が同時に話をするとう聞き取りにくく感じる空間で効果を発揮します。

\*ブーミー：低音域が過度に強調され、音がぼやけたように聞こえる



#### 仕様

|      |                                                         |
|------|---------------------------------------------------------|
| パッド  | ： ポリエステル吸音材                                             |
| 外形寸法 | ： 460W×125D×460H (mm)                                   |
| カバー  | ： レザー調 / 5 色 (グリーン、ベージュ、グレー他)<br>ファブリック / 色・柄 全 10 パターン |

### 2. Meleon-AGS ( ルームチューニング機構：AGS )

AGS「Acoustic (音響) Grove (森) System」の発想の原点となったのは“森の音場”。数多くの木々が深く連なる森の中は、音響障害の無い、理想的な音響空間とされています。森林内の木々に、音が乱反射を繰り返すことによって生まれる残響など、「低域の抜けの良さ」と「中高域の緻密な響き」を得られます。このような森の音響効果を、屋内のルームで再現しようと開発したのが AGS です。

AGS の音響効果は、大きく言いますと次の 3 つになります。

- ・低域の定在波（部屋鳴り）の抑制
- ・中高域の緻密な響きの実現
- ・部屋の用途に応じた吸音特性のコントロール

AGS は、単なる柱の群れに見えますが、国際特許（日本、米国、中国、香港）を取得。柱の形状や配列、素材などは、弊社が長年蓄積してきた音響シミュレーション技術を結集したもので、ここに特許のポイントが集約されています。

2008 年から販売開始した AGS は、音質にこだわるユーザー向け（例：音楽スタジオ等の



専用室) のものでした。これをオフィスやリビングなど幅広い用途で使えるよう、デザインや大きさを変更したのが Meleon-AGS になります。

#### 仕様

材 質 : 集成材  
仕 上 : 天板・台座・丸棒= 染色塗装  
外形寸法 : 456W×90D×456H (mm)  
重 量 : 約 3.0kg  
カラー : 3色 (ナチュラル、ホワイト、ブラウン)

### 3. Meleon-シェルフ (棚)

前述のフィラー、ルームチューニング機構の音響効果を最大限に発揮し、かつ、それらを部屋の用途やインテリアに合わせて簡単・自由にレイアウトするのがシェルフの役割です。オフィスや部屋の大きさ、あるいは、求める音響効果の量に応じてシェルフの数を増減できます。また、それ自体が空間に音響的な癖を及ぼすことがないように入念な設計、組み立てを行っています。横置きも可能です。



#### 仕様

材 質 : パーティクルボード  
仕 上 : 耐摩耗化粧合板  
外形寸法 : 1740W×150D×500H (mm)  
重 量 : 10~11kg  
カラー : 3色 (ナチュラル、ホワイト、ブラウン)



※「Meleon」は商標登録済みです。また同製品などのカテゴリーを国際特許申請中です。  
※仕様は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

★ご参照：こちらで Meleon を紹介した動画をご覧ください。

[https://www.youtube.com/watch?v=IU\\_bdaQWWZ8](https://www.youtube.com/watch?v=IU_bdaQWWZ8)